

耐水性

90°Cの温水にケーブルを90日間浸漬し、外径、長さ、質量の変化率を測定。

表1 水性評価試験(90°C-90日後)

項目	試験結果	
	Dy-reCT-WT	2PNCT(ゴム)
外径変化率	0.0%	+42.0%
長さ変化率	0.0%	+4.8%
質量変化率	+3.8%	+46.9%



Dy-reCT-WT

2PNCT

耐塩素性

①

60°Cの温水の上部に塩素錠剤をつるす。この温水にケーブルを90日間浸漬し、外径、長さの変化率を測定。なお、塩素錠剤は無機系さらし粉とトリクロロイソシアヌル酸の2種類とした。

表2 塩素性評価試験(60°C-90日後)

塩素錠剤種類	項目	試験結果	
		Dy-reCT-WT	2PNCT(ゴム)
無機系さらし粉	外径変化率	0.0%	+15.4%
	長さ変化率	0.0%	+1.4%
トリクロロイソシアヌル酸	外径変化率	0.0%	+30.8%
	長さ変化率	0.0%	+2.8%

耐塩素性

②

評価試料(外被)を25°Cの次亜塩素酸ナトリウム1%に168時間(1週間)浸漬し、外径、長さ、質量変化、物理特性変化を測定。次亜塩素酸ナトリウム1%はmilton(液体タイプ・1000mL)の原液とし、容器の中に評価試料を投入し、浸漬させた。

表3 耐塩素性評価試験(次亜塩素酸ナトリウム1%-1週間)

項目	試験結果 Dy-reCT-WT
外径変化率	0.0%
長さ変化率	0.0%
質量変化率	-0.07~+0.02%
引張強さ変化率	+6.9%(引張強さ13.0MPa)
伸び変化率	-0.1%(伸び492%)